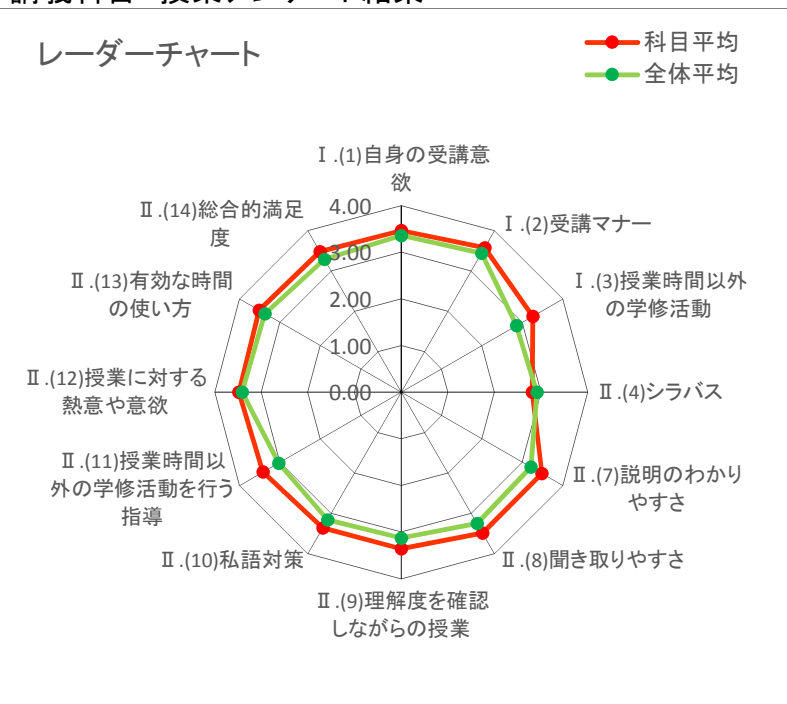
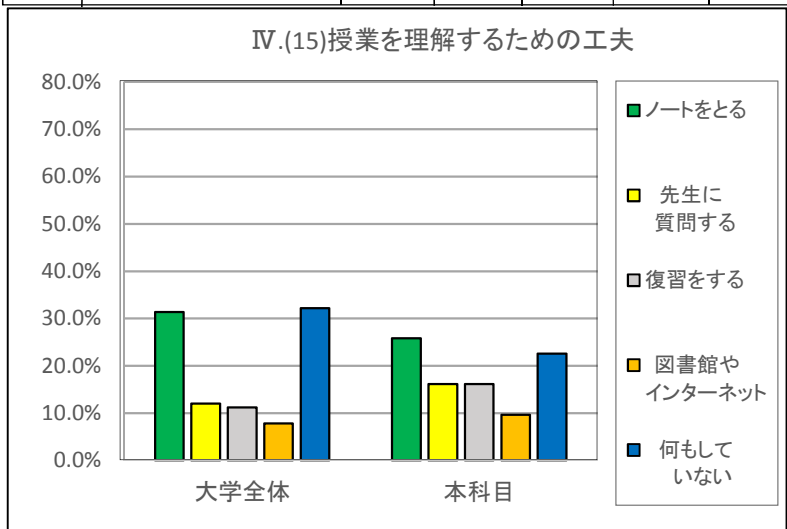


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2.(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	25.8%	16.1%	16.1%	9.7%	22.6%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

	設問No	科目平均	全体平均	
受講姿勢	I.(1)	3.47	3.36	
	I.(2)	3.58	3.45	
	I.(3)	3.26	2.86	
受講内容・方法	II.(4)	2.81	2.91	
	II.(5)			
	II.(6)			
	II.(7)	3.48	3.21	
	II.(8)	3.48	3.25	
	II.(9)	3.35	3.13	
	II.(10)	3.35	3.16	
	II.(11)	3.42	3.04	
	II.(12)	3.48	3.41	
	II.(13)	3.52	3.37	
	満足度	II.(14)	3.48	3.29

授業年度	2015年度 前期
時間割番号	14108
科目名	算数科指導法
教員名	

①授業計画の達成度について

第1回目の授業の際に本講義のねらいとシラバスについて説明をしたが、アンケート結果を見ると十分に説明し切れなかったとの判断が適切であろう。特に学生がこれまでに多く経験してきたと思われる知識注入型の指導法ではなく、子どもの主体的な問題解決活動を促すための指導法についての学習が主な内容であった。そのため教材研究の重要性について時間を割いて理解を深めるようにしておく必要があったと感じている。シラバスを見る習慣をつけるため、授業の中で次に学習する内容が何であるかを問う機会を設けシラバスを意識させる必要があると判断した。

②授業の進め方について

反転授業の形式で授業を進めようと計画し、ホームページを利用して事前に次時の学習内容と課題を提示し授業に臨んでみたが、各自の事前課題に対する調べ学習の学び方が十分に身につけていないと判断したため、従来の講義形式に授業の進め方を変更した。

反転授業での授業を目指す場合には、今以上に「私語対策」「スマホ対策」を徹底させると共に授業に対する目的意識、学習意欲を高めるための工夫の必要性を感じた。事前学習の資料を準備した配付をしたが、それを活用するようにとの指示が弱かったことが反省点としてあげられる。これは、授業を理解するための工夫の回答数からの判断である。

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.44	3.22
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.36	3.18
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.48	3.29
III.(14)		

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

今回の授業では計画通りの展開をすることが出来なかったが、アクティブラーニング及び反転授業の形式を取り入れた授業を是非とも実現していきたい。そのための下地づくりとして学び方を指導する時間を授業の1回目、2回目に設け、学生主体の充実した授業展開を目指したい。それと平行して前欄でも述べたが、「私語対策」等にも力を入れ学生自身の意志で学習環境づくりに取り組むような雰囲気作りにも努めたい。つまり、私語対策に時間と労力を費やさなければならないような「学習集団を作らないようにしたい。

授業内容の難易度に関しての回答では、「高い」と「低い」が同数ほどあるが、必要最小限の内容に絞ってあるので現在の難易度で取り組みたい。